

# コミュニティ・スクール (学校運営協議会) の進捗状況

令和元年 1 月 6 日  
学校教育部 指導課

# コミュニティ・スクールとは…

---

- 学校運営協議会を設置した学校のこと
  - 校長の作成する学校経営方針の承認
  - 学校運営について、意見を述べられる
  - 教職員の任用に関して、意見を述べられる
    - マネジメント・熟議・協働

# 学校が時代に対応するための手立て

---

- 「地域に開かれた学校」から  
「地域とともにある学校」へ
- 新学習指導要領の大きな柱  
⇒ 「社会に開かれた教育課程」
- 「地域で子どもを共育する柏市」の実現

# コミュニティ・スクールの導入による 期待される効果

---

- 保護者，地域住民と学校の相互理解による，協力しやすい関係の構築
- 子ども達に学校だけではない，豊かな学びの提供
- 教職員の本来の業務に携わる時間の増加
- 地域住民が，学校を通してのつながり  
学校の課題解決につながり，地域の活性化

# 令和元年度 コミュニティ・スクール誕生

---

★柏市は、学校運営協議会設置先行

● 2エリア4校

西原小・中学校

柏の葉小・中学校

※学校評議員会議の廃止

学校を取り巻く環境を生かした

地域学校協働活動への期待

# 成果

---

- 協議会委員同士が顔の見える関係  
(西原小中は、教職員も参加)
- それぞれの学校が何を重点に考えているか
- 柏市全体に興味関心をもつ学校が増えた  
⇒「理解と共感」への一歩ずつ前進

# 課題

---

- △ 1つの小学校から2つの中学校に進学する学区への対応
- △ 導入で何が変わるかはっきりしない
- △ 会議だけで活動につながらない
  - ⇒ 「地域学校協働活動」の必要性

# 来年度に向けて

---

- ★学校を取り巻く環境により，学校運営協議会の設置に柔軟性が必要
- ★設置前に，学校運営協議会設置のねらいをはっきりさせ，学校と地域をつなげる推進員の人材発掘，そして推進員への研修実施  
⇒地域学校協働活動との両輪を探る！